



「挑戦できましたか？」～結果より過程～

校長 川西 真理

令和5年も、残すところあと数日となりました。振り返ってみれば、今年は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したことにより、学校でも様々な活動が制限なく行われるようになり、子どもたちの生き生きとした表情がこれまで以上に見られるようになった1年でした。

さて、2学期の懇談会や終業式を控え、担任からはお子様の2学期の様子を総じてお伝えするかと思います。保護者の皆様にとっては、喜ばしい話も、そうでない話もあるかもしれませんが、「子どもの成長を心から望む」という点で、学校も保護者の皆様も気持ちは同じです。子どもの成長をお互い喜び、難しい点は改善にむけて家庭と学校で協力していけたらと思います。

そこで、子どもを評価する視点としてお願いしたいことがあります。それは、「結果ではなく過程を評価する」ということです。結果ばかりを評価されると、子どもは「よい結果をださないと自分は価値がない」と思い込んでしまい、失敗をむやみに恐れ挑戦できない子どもになってしまいがちです。そうではなくて、「困難なことにも挑戦しようとしたこと」に目をむけて褒めてあげてほしいと思います。もちろん、中学校では、テストや部活で順位がつけられたり、高等学校ではまず入試でふるいにかけてられたり、結果が評価されることも事実です。しかし、そんな厳しい現実と向き合ったとき、「たとえ、〇〇ができなくても自分は価値がある」と前向きに思える心＝自己肯定感こそが今育んでおきたいものです。

2学期も、多くの子どもたちの、キラッと輝く姿、粘り強く取り組む姿を目の当たりにしてきました。可能性を無限に秘めた子どもたちの挑戦を今後もしっかりと後押ししていきたいと思っています。

行事が多かった2学期ですが、地域の皆様、保護者の皆様には、いつも温かい心で子どもたちや教職員を応援していただきました。ありがとうございました。3学期もよろしく願います。

聞き合える児童の育成をめざして

今年度「聞き合える児童の育成をめざして」というテーマで校内研修や授業研究をしています。研究の一環として「なかよし班でお菓子作りをしたら」というテーマでフリートークをしました。話し合いは、なかよし班で行い、翌日には自分たちのフリートークの様子を映像で見ながら振り返りをするという活動を行いました。振り返りでは、「顔を伏せている」「自分のことばかり話している」「話す人の方を向いていない」等の気づきが子どもたちから出ました。

先日の学校運営協議会でも委員さんから授業参観や行事に参加した際の児童の様子から「聞き合う」ことの必要性を強く感じたという意見をいただいています。「人の話を聞く」ことは、学習活動においても生活場面においても大切なスキルの一つです。今後も、相手を大切にして、聞き合える児童の育成をめざしていきます。



「挑戦できたことが素晴らしい！」



フリートーク 振り返りの様子

雨ニモマケズ！～持久走大会～

新記録もでたよ！



12月5日(金)に持久走大会を実施しました。当日は、あいにくの小雨でしたが子どもたちは、これまでの練習の成果を十分に発揮し、力強い走りを見せてくれました。

地域の方も寒い中、旗を振りながら大きな声で応援してくださり、ほとんどの子どもが練習よりよい記録を出すことができました。特に2年生男子(1000m)では、これまでの最高記録を14秒上回る新記録がでました。新記録の更新は実に9年ぶりのことです。

また、持久走大会には、コースの交通指導として、学校運営協議会委員・民生委員・PTA 体育環境整備部員にご協力いただきました。本当にありがとうございました。



2年



3・4年



5・6年

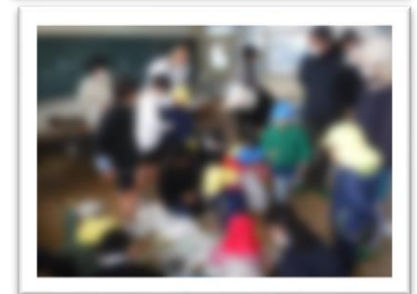
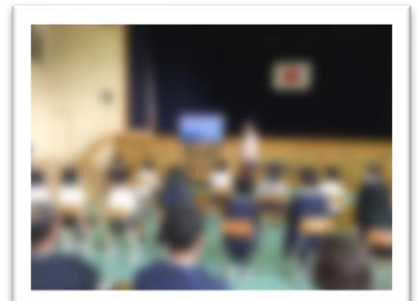


地域の方の応援

「海ごみ 出前授業」「島中水族館」

11月29日(水)に「BLUE YEAR」のしめくくりとして、国立研究開発法人海洋研究開発機構 主任研究員の松岡大祐先生(周防大島町出身)をお招きして「海ごみからわかること」をテーマとして出前授業を行いました。松岡先生は、近年、海ごみが急増してきており環境の危険が迫っていることを映像やデータをもとにして説明されました。また、海ごみの問題解決のためにどこにどんなごみがどれだけあるかをAIによって解析していることをお話しいただきました。5・6年生は、自分たちが総合的な学習で探求したことと松岡先生の話が深く関係していたこともあって盛んにうなずきながら話を真剣に聞いていました。

一方、3・4年生は12月1日(金)に「島中水族館」を公開しました。このイベントの開催がこれまでの海の学習の集大成となりました。採取した魚を展示するだけでなく、「えさやり」「ヤドカリ釣り」「水辺の箱庭づくり」などの体験コーナーを企画し、保護者やひらい保育園の園児を大いに楽しませてくれました。子どもたちは自分たちのしたいことをやり遂げた充実感でいっぱいでした。



「メディアオフデー」の取組について

本校では、毎月第1・3水曜日をメディアオフデーとしています。メディアオフデーは、iPadを家庭に持ち帰ってのデジタル宿題をやめて、全校一斉で読書を宿題としています。宿題では、読んだ本の感想やおすすめポイントをプリントに書くこともしています。

こどもの読書をする時間を確保するとともに、自分で目標を決めメディアとの付き合い方をコントロールできるようになってほしいと願っています。ご家庭でもご協力をお願いします。

